

4／19（火）の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～



新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 4月15日（金）15時00分

発表項目 (行事名)	「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」支援団体の決定とキックオフミーティングの開催について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	発表場所
概要	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道内の水辺において環境保全活動を行う団体の事業に対し助成を行う「北海道e-水プロジェクト」について、令和4年度（2022年度）の支援団体を決定しました。 ○ 今回採択された事業を実施する団体が集い、活動内容を発表し、情報を共有するための「キックオフミーティング」を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 道では、平成21年（2009年）11月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社と「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結し、平成22年（2010年）から、道内の水辺において環境保全活動を行う団体の事業に対し助成を行う「北海道e-水プロジェクト」を、同社及び（公財）北海道環境財團と協働で実施しており、令和4年（2022年）で13年目を迎えます。 ○ 令和4年（2022年）の助成事業には24団体から応募があり、選考委員会における厳正な審査の結果、22事業（団体）を選定しました。 支援団体、事業概要等は別添一覧のとおりです。 これまで採択された団体数は延べ160団体になります。 ○ また、今回採択された事業を実施する団体が集い、活動内容を発表し、情報を共有するための「キックオフミーティング」を次のとおり開催します。 <p>日 時：令和4年（2022年）4月19日（火）14:00～16:15 開催方法：オンライン開催（後日YouTubeにて配信予定） 北海道e-水プロジェクトのホームページからアクセスしてください。 URL https://www.heco-spc.or.jp/emizu/index.html</p>		
参考			
報道（取材）に当たってのお願い	キックオフミーティングの開催を広く周知するため、記事掲載等にご協力をお願いします。また、新聞掲載やテレビ放映されることにより、民間団体等が行う水辺の環境保全活動や、行政・企業・環境団体による協働取組の重要性が広く認知されることから、積極的な取材にご協力をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	経済記者クラブ ※北海道コカ・コーラボトリング（株）が配付	
同時レク			
担当（連絡先）	<p>(プロジェクト全般については) 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 （課長補佐（水環境対策）横川） TEL（ダイヤルイン）：011-204-5193（内線：24-255） (団体の活動内容など具体的な事項については) (公財)北海道環境財團（協働推進課長 内山）TEL：011-218-7811</p>		

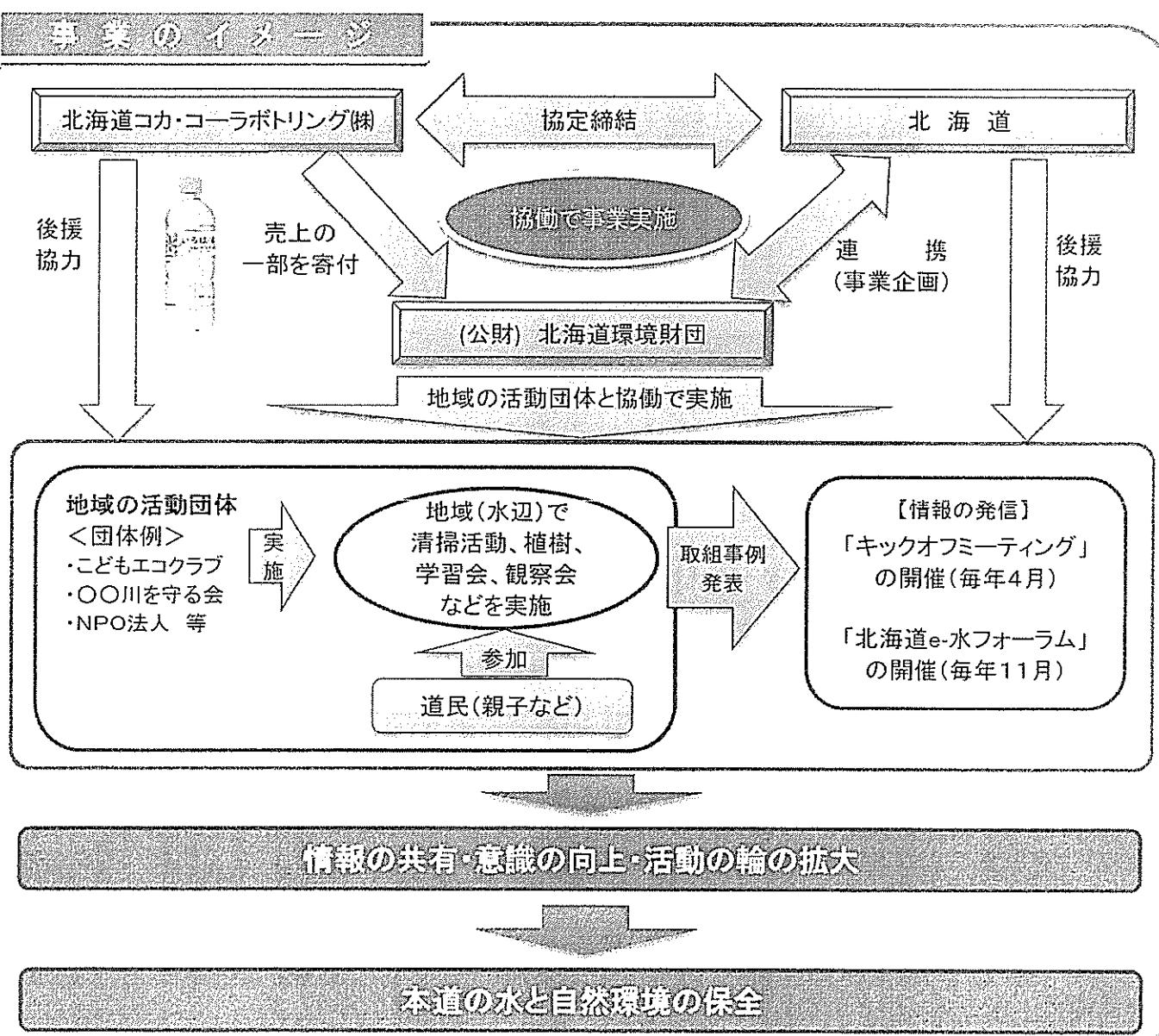
『北海道e-水(イーミズ)プロジェクト』について ～北海道コカ・コーラボトリング(株)と道のパートナーシップ協定による取組～

北海道コカ・コーラボトリング(株)から、同社の売上げの一部を北海道の環境保全に役立てたいとの趣旨の事業提案を受けて、道は同社と平成21年(2009年)11月20日に「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

「北海道e-水プロジェクト」は、この協定に基づく道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の協働事業で、平成22年(2010年)から実施しています。

この事業では、同社が販売する「い・ろ・は・す天然水 555ml」の売上の一部の寄付を受け、それを活用して、同社、道及び(公財)北海道環境財団の連携のもと、道内の各地域(水辺)において水質浄化活動や清掃活動などの環境保全活動に取り組む団体が実施する事業に対し助成するとともに、活動の輪を広げるための情報発信の場として、「北海道e-水フォーラム」を開催します。

*「e-水」とは、エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、名付けたものです。





2022年度北海道e-水プロジェクト 採択団体一覧表_e-水コース

団体名	事業名	活動地域	事業概要
オホーツク魚類研究会	コンクリートで平らに固められた川のためのポータブル魚道	美幌町	川の氾濫から橋などの構造物を守るために、川底をコンクリートで平らに固めてしまうことがあります。こうした工事によって、川の水の流れは遠くなり、水深も底面に残ります。その結果、サケなどの大型魚が川を移動することができません。
釧路自然保護協会	釧路川流域におけるイトウ生態環境再生と団体群復元の取組	釧路川流域 (釧路市)	釧路湿原や釧路川流域で50年、100年先も絶滅危惧種イトウに代表される魚類群集や生態系が将来にわたって、健全な状態で存続し続けていくため、本事業では、釧路湿原自然再生事業(魚道整備など)による河川環境再生や産卵床等の整備をおこなう。また現在、繁殖が途絶えている支流については、あわせて育成施設における生息域外保全や越冬支流への再導入の取組を進めます。
小松前川支流域 環境保全ネットワーク	いにしえの水辺を守る(小松前川支流域環境保全活動)	小松前川支流域 (松前町)	小松前川の本流は、日本海に注ぐ生産系の漁業を支える河とつながっている。また、支流は公前公園を経由し、松前町の内堀に流れ込む。貢献度は源流とつながっている。この流域ではかつて駒作が行われ、ホタルが生息する自然豊かな環境にありました。しかし、時代の変遷とともに疊地が荒廃してホタルも姿を見せなくなっています。当該苦効は、十数年前にホタルの様を自然を取り戻すように流域の環境活動を実施し、環境変化予防を小規模に進めてきた。近年ホタルの数は少しづつ増えてきたことから、活動の輪を広げ、環境教育や総合学習の中で、地域固有のさくら風景とホタルが重みつく環境保全、生産系を支える魚付きの魚、観光資源としての活用に貢献する。
認定NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	水及び湿地に親しむ環境教育	サロベツ地峡 (豊富町・幌延町)	利尻礼文サロベツ国立公園のサロベツ湿原と砂丘林は、豊富町から近い位置にあり、子どもたちが湿地や潮沼について学ぶのに最適な環境にある。本事業では、子どもたちに湿原を地上と上空からの視界により湿原の全貌像を把握してもらい、湿原や砂丘林の沿岸性やそこに生息する水鳥や水生生物を観察し、ゴミ清掃などの保全活動を行うことにより子どもたちに湿原や潮沼群の重要性について認識してもらう。
特定非営利活動法人 人まち育てB&I	「残そう味わおう！湿地の文化と食～スマイル編とエンカンツウ料理、環境意識の試み～	道央地峡 (石狩・空知・後志)	湿地に開かれる文化と食を体験して樂しまんでもらい、また湿地再活動に携わってもらうことで、湿地の大切さや魅力を知る人を増やし、湿地の自然環境と文化を未来に継承していくことを目표です。今年は「湿地に生えるスイカ」を使った創作文化を挙げ、「湿地を彩るエンカンツウを美味しい食べて健康になる」をテーマに体験会と植物の増殖活動は、福祉・保健分野とつながりで行い、「環境連携」を推進していきます。
森川ひきがえるバスターズ	外来生物アズマヒキガエルの監修	深川市	1.アズマヒキガエルを地母から排除する活動 ①禁漁する池で成体(ガエル)・卵(オタマジャクシ)を徹底的に捕獲・除去。 ②禁漁池の近くの放置された古い池を重機で取り除く。 ③池の周囲の除草、枝葉払い等の環境整備。 2.情報発信・音・及ぼす効果 市民が自由に参加できる公開駆除日を設けるほか、会報特別版ラジオ、ホームページ、会報特別版ラジオ、ホームページなどを通して、外来生物やその駆除に関する情報を広く発信。

※五十五項



② 2022年度北海道e-水プロジェクト 操縦団体一覧表しづくコース

団体名	事業名	活動地域	事業概要
あさひかわサケの会	石川川の環境保全と生息系の回復をめざして 石川川流域での野生サケ養殖の目標を実現	旭川市	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全までの実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。また、本会は、サケ養殖・サケ苗販売・サケ苗販売・サケ苗販売を行っている。
旭山自然消滅隊	水辺の命 私たちの守るもの	札幌市	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。また、本会は、サケ苗販売・サケ苗販売・サケ苗販売を行っている。
一般社団法人小博セーリングクラブ	海から行く、小樽市海苔漁港クリーン活動	（小樽市）	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
河川愛護団体リバーケット21がぬま	小鳥のさえずりが鳴にえる河川林づくり	長沼町 千歳川右岸	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
北見エコスクールSDGs協議会	水呑海藻クリーン活動	北見市 宗谷町	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
県内外からの県自然学校運営協議会 (一般社団法人はっぴー総合社会)	矢木川をキホにつづくプロジェクト ～いきものさがし～	矢木川環境 橋本清化法のミトナー開拓実習】	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
コモモリくらす	水辺から再生祭！「水と生き物園」	旭川市	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
特定非営利活動法人少流川愛クラブ	豊かな河川環境の復元は江 橋本清化法のミトナー開拓実習】	沙流川中・下流域	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
清津川水系流域教育推進実行委員会	海上ウキウキリバーアクティ	（札幌市内）	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
水草アヤメ川自然公園を育てる 市民の会	水草・アヤメ川自然公園の魅力発信	伊達市	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
地被植物まぐり会議 高岸小倉区さきな	高岸小倉区さきな	高岸小倉区 （札幌市内）	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
手留さと川探検隊	札幌市内の水生生物調査 ～手留川の川をのぞいてみる～	（札幌市内）	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
安寒川せんげんクラブ	安寒川を子どもたちで楽しむやさしさへ！	（札幌市内）	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
リニューアル10周年事業実行委員会 札幌市生涯学習センター	山の水祭館	札幌市生涯学習センター	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。
西陵の生涯系とかんがエル・ 札幌市生涯学習センター	札幌市生涯学習センター	札幌市生涯学習センター	「石川川を野生サケのふるさとにしたい」として、石川川水系の河川環境復全の実現や市民へのPRを通じて、「河川環境復全の大切さを伝える」市内外へのPR活動を行っている。